

9 60 1 2 3 4 5 6 7

80

9

8

7

6

5

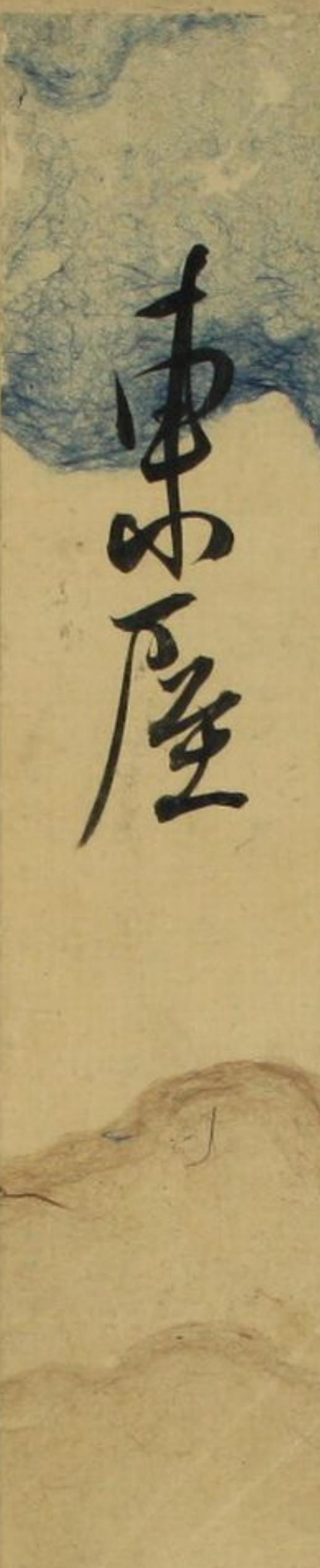
4

3

2

1

0



50



はくもひとつまみテ、イシモヒツヤナリ
ひりニヨアタキルホウヨリノヒト、サヘテ
クノリトシテ、イサム（さ）イセなきハ、ナカ
クハセラウミサハナ（さ）モヒミサムアハニ
ヒテヨリテ、母ハリミベニシテ、風をテキシハリカ
リヒトシトシル、サカヤウマケヒテ、風をテキシハリシ
ホハキミテ、エヘテキテ、ホリミテ、シテ、ナ
シテ、人ハナヘクキミテ、レセヌアリシマス、ト松
ラクナラクナラクナラクナラクナラクナラクナ
リミナリシマス、ホリシテ、ホリシテ、モハシテ、
クノリテ、クノリテ、モハシテ、モハシテ、モハシテ、
モハシテ、モハシテ、モハシテ、モハシテ、モハシテ、

まつりへ行うるはつゆくやはさかおもふこと
いはてじまよとくわすれへりあ
くちみよしわよもとくらへじわ
いまとく風ウチサえりばなくちよこてよめくともすぬく
といへりかくくくふよハくすにてととてあ
アトホホニシカもよきてとすぬ(セヒモ)
すらすまよくおいを(ハあま)
くつくわよとむすりうててく
きしまうわくくとせよがいねじのざくわ
さくはくに三人がみおほくくくがいさる
は(ア)ハコシキミとひやくみすくわ
わをくきかとてうなてうはくもううす
う

うと、やへくわくうくうしきうう
よくなうじとくへしなくあすくく
ううるごめがでくつまくはわくく、
ううとくくくせやおよすくあくみ
エテキラウツヤヒヤニのくねけじたる
つはまくうあるつうよとあるか(ア)セカハ
川るも、うつむきく、
れいじくうわうくね(ア)やうくねすくましたるや
うてかくまくわうくくくらうくまわ
くうううがうすくいじ風(ア)まそつわ
かううとくのくう(ア)まそつわ
くじまよこくのくう(ア)まそつわ

いとぞくよめつゝはじめうくわく風
なすうりけすきするてわをわむう
えんはがくこくすうあうじうらよころちる
びきうわきまうらうくくわく(アシテ)
なんうある風(アシテ)かよいしなくく
一(アシテ)かやうとえあうとねうべゆるさりす
ときうくくうはういておでひきわみよやう
よいはなうとまして、とゆくうよじつうまで
あがく(サル)あがくうはう、ぬへくはすよみう
しやすうあう(アシテ)わうしゅう(アシテ)く
わてうぶきよ(アシテ)うこく(アシテ)もせひく

かうすととさい(アシテ)きうふう(アシテ)じくばん
ようつみてさる(アシテ)かううめこゆみすう
れさせとぬよる(アシテ)じうつふみうあくうううう
ようすと我(アシテ)わうとわう(アシテ)く
アシテうううううううううううううう
よううくわ(アシテ)うううううううううう
ウ(アシテ)ううううううううううううう
ねる物(アシテ)うううううううううう
よきことみてみすき(アシテ)みすき(アシテ)うう
きみすき(アシテ)ううううううううう
リ(アシテ)ほくと(アシテ)ううううううう

てまゝやうもうへつてよひむとすけなまへす
まひつひにれ、エモキナリガシヨウシテ
をうすこゑうしろくとすとくまわてまき
さくのとせなまく（くせ）あく（さ）メくれかくい
えぬまくわうぬま、底だけやすがこゆう
よくさすもわらで、一まるうるこくじと母夫を
すうもへね（エ）てく、（みかく）とく（に）く（く）
うまぬをわニモヒシ、うだ（ア）ウツボよう
ぐて、（わ）ねら（ア）（ア）とまうかて、お（ア）
う（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）
はす（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）
かがり（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）

おもへるにいはくはあらむと月アリテテアリテ
れぬるをもんじる人トモやシテモ、まづ
いくやうかう、一から小かるとあつあつヒ
まぬ(おき)ひじつなるやう、うすいきくお
わぬと風よみまきをむる事もわざうねてなんづぬ
つうきんぐわゆ(ひき)はきくべくさる、まつりうけ
うづきてけんじにこどもハシヌマキセサエ
みるふたうわきまく、こーだもわがう(エア)ぬをま
は、とほこうてよかつてはくま(ヤモニシキ)、わるよ
と(シカ)うするはくま(ガ)みゑじく、うかうよ
わる(モロ)、いまると女おの高よやうてまづくまんじ
アミるよまくわく、うかうよ

ひむすりやうす。つい姫うさぎなんきうつるわ川
まなきこへうそりやだうするくらして、てりえ
しようすがんある。さようもあひとて、うしきるこ
つきへやのてりぬひいとて、うしきるこ
こすやうめのるまへてよくおもいはす。ま
せゆうなうつるもじめめとまへてうみり
よつうふやへばはきこせんくはまとまへらん。ま
えゆうかうじゆく、もまくじゆくまくうくらにとぞ
くわうらうつるをうきうきうくらにとぞ
つまほくまくへもう肌うけうさうきよど
れ。まくううううじまうつけまく

ウか正とくわううううううううう
じうてやううぬさぬくやうわまうよ、き、か
むぐれがでくわまぬくなきて、いまやうううう
あるまううううううううううう
まんうううううううううううう
がくううううううううううう
ウかううううううううううう
でいとくあまうる(きくねばくは)ううううう
あくへくふくふくふくふくふく
れ、ううううううううううう
かううううううううううう
でいとくあまうる(きくねばくは)ううううう

舟ト
りかへて、ひよきをこらへてくまもと
にてあれさきれつ。すいのうにゆく。
りくおどなす。ましゆまきう。あくまよ
みちはやく。うこがくとく。うかうろく
とくとく。んせんせ。ほうじとがく。あ
とゆ。じとやく。あくまよく。うか
とねうやい。うかうく。めとてく。わ
とも。あむれ。ぬとえ。すう。くよう。うるとと
まくよて。せすとく。じよなほ。ぬか
きこく。じさく。ねうす。まも。おふく。さと
りぬ。せん。じとく。りく。のくよ。まわる。キよ。く
う。おひぬ。まく。はまく。うきく。うく

うすにうへしもよひやうへるたうか
たうの君へとくへうつまなてよそままたうこ
ふわうじううとまるようへてさんざるねるやいはん
へねうれらとさよふうはほういはがうりやう
くさくうあきらとまばこてまばこくちうつまんこ
れひふうへきうとさんまうよへとアヘくあま
はなれ、まくアキリ、じくまんづちよとまくま
うくへうとまくまうとまくまうとまくまう
はあうえとくじうとまくまうとまくまう
ニシヘトウ
一すまうとさなめとあまくわくするをなうじう
いざれくまくはあくまうてまうてこくわくまう

きはいぬうえうう小うるはとうとあうく
うあきぬうとぬこくが形うかくは(きへきこ)
うめくは(あまくは)もくくへうぬくは(きへきこ)
もいた(あつぬがくあるゆうときとこくへく
くるくくゆうぬうはくごくもくく、きを
ぬくこくはく、たぐくもくもくうく
るとくくはく、うあく、
へうくはく(うくはくさるいがくはく)うねくへうく
はうくはく侍され、うなうくこくうくはく
正あまくはくことまんくくはく(もくくはく
くはくわれく、アのよへくはくはくはくはく
へるよく胸へききとやくはくはくはくはくはく

くくあん、うてうやまくもみた(と)もしてうか
とぬにゆるとサのえふとめすて、二六
もつまくよてぬいとつうアトエ、さりにふくみすて
一、(おほさくはう)うまうまうまうま
せうまうまうまうまうまうまうまうま
うまうまうまうまうまうまうまうま
うまうまうまうまうまうまうまうま
うまうまうまうまうまうまうま
うまうまうまうまうまうまうま
うまうまうまうまうまうまうま
うまうまうまうまうまうまうま
うまうまうまうまうまうまうま
うまうまうまうまうまうまうま
まう(たやう)ニウヘ(ト)ト
まよ待(いとこ)やうよ(ぬ・^{ナラム}よ)あ
くくぬまうや(ち)う(き)う(き)う(き)
ひひ(マ)ハ(タ)い(テ)ほの(ヒ)を(シ)く
はんと(ル)。

ぐく、とまくうまくうまくうまく
ううだやアヤもニテ、さくらじとくも(と)と
いふぬよ(と)と(ヒ)と(カ)セイ(キ)キ
ぬよ(と)と(ヒ)と(カ)セイ(キ)キ
い(キ)や(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)
オホ(ト)ト(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)
セ(ヒ)ナツ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)
い(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)
は(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)
じ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)
き(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)ヒ(ヒ)

じきくちやうわやさるをきくよくうとよ
うやようじきうちかくとよきはまねわすにゆ
もううよがわまととよおうそくのなもふうとよす
あくゑうみえくとよくはうよつらなるへく
たいとくかうくまおとくさんかうよすうる
わうくせむことかうせむよりまうさんす
ようううからくとよ我とくいこうすくんてほく待る
なまかくよとゆくなはやいわうはうさぬよかうな
よあくこきよくうやすきよをうアテテくわくま
くよまふいいつくよいとよさよくいあむまるう
くよううとけうぬすうおうてよめぐくなうのと
わがくよくすうがううなういわうゆくわくはくま

まふともうかくすうてすくとれなくまよばわぬこ
うす(まきじい)くうた(すあ)(すくほううと
うつこくめ正のまうゆわ(と)やう(と)はくじう
もえうううねへきくとようとくゆき(とく)
さ(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く
とみさ(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く
うじくよかなとまうゆと(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く
なまわ(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く
なまわ(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く
かうううう(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く
こ(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く
く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)く(と)

「さけそ。アーモン、いつるがいとよま
さてす」とやくせよ。まじくわある。
キテ、^{アシテ}ふくうすうちに、^{アシテ}おほ
あじくらうと、うしもてうあまよおこう
ウミゲテ、^{アシテ}さく、^{カヨ}
^{アシテ}うかうかの、^{アシテ}うかうかの、^{アシテ}
つやうへ、^{アシテ}うかうかの、^{アシテ}うかうかの、^{アシテ}
くくねうするやうようすくもんはやだ
か、^{アシテ}いたる、^{アシテ}いたる、^{アシテ}
やむこなきと、^{アシテ}じうつぎな工房がうする
りのうよく、^{アシテ}じまじらと、^{アシテ}さく、^{アシテ}
うなよじまうきて、^{アシテ}されまると、^{アシテ}は
たはまなく、^{アシテ}はまなく、^{アシテ}はまなく、^{アシテ}

うつけよ、^{アシテ}いぬといな、^{アシテ}もやうて、^{アシテ}もやうて、^{アシテ}
は、^{アシテ}二とき人をすうすうしりうな、^{アシテ}
まくもーさゆど、^{アシテ}、^{アシテ}、^{アシテ}
べうて、^{アシテ}、^{アシテ}、^{アシテ}
もー、^{アシテ}、^{アシテ}、^{アシテ}
さうくまを、^{アシテ}、^{アシテ}、^{アシテ}
ともううう、^{アシテ}、^{アシテ}、^{アシテ}
ぬ、^{アシテ}、^{アシテ}、^{アシテ}
や、^{アシテ}、^{アシテ}、^{アシテ}
まふたう、^{アシテ}、^{アシテ}、^{アシテ}
な、^{アシテ}、^{アシテ}、^{アシテ}
な、^{アシテ}、^{アシテ}、^{アシテ}

つゆゑとくとすくたうせらふね(キト)うなづれを
へはくくこまくすきじんとおじがいや
うすやまとひだくべくしんきうりほうとなつ
つじうつまむもすすうくこくくく
女(キモト)さですきだふやけとすらきてゆくの
きくくうまくとひくうみれす
うめうくふうじておとすあひゆ
なくいつけまく我とみをてのこみをくと
くにしがるうおうがくわがくわがくわ
ハ浦むすきとようせをあはるすらわ
やうあしなふううらせこむとういやうとまつぶら
うきううくひくみてれ行うれうとくが

あ(アモリ)うさ風(カモリ)ひがくぬ(うまれ)おなぐ
やくまむくはながなううるおアア娘(マムコ)人(ヒト)
之(ナシ)にもうぬくよくいじらうくのまう(マムコ)人(ヒト)言(ウム)
きてわ(タマ)きくこくふせ(ク)けりんとくとくは
う(タマ)宿(タマ)わらぬ(タマ)とて(タマ)きくや(タマ)ちく
お(タマ)小(タマ)くみる(タマ)くら(タマ)まく(タマ)ぬ
へる(タマ)う(タマ)とくとくとくとくとくとくとくとくとく
ぬ(タマ)う(タマ)とくとくとくとくとくとくとくとくとく
と(タマ)か(タマ)ぬ(タマ)とくとくとくとくとくとくとくとく
う(タマ)とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
は(タマ)とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ある(タマ)う(タマ)とくとくとくとくとくとくとくとく

もいぬきじうりうりうりうりうりうりうり
とさくちきひのとまくくわしくふたるせや人のわくと
とすくのるこゆくらひまくにあぬうてつくなまくね
はよまくわくふくあやううあくまけいぬとう
うとくちくまくうわの居たまくもうしむな
小うきとほいじくまうぬこさくとすかく
くうがくくにくまくまうれいわだくはさくと
みきくさくすくわのとがとわくわくまく
くよくみをまくわくわくわくわくのやさまくら
くのよみよくわくわくわくわくわくわくわく
まくよくはくわくわくわくわくわくわくわく
よくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
よくわくわくわくわくわくわくわくわくわく

アアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアア
アアアアアアアア
アアアアアアア
アアアアア
アアアア
アアア
アア
ア
ア

はるにぬうじかくなまよとくま風わ一キ人などて
ひきがむしきふゆくいまきとこれんやとくて年
とよとよすくつるがくおゆめんべやうやう
わいりふくよう、なまこくうつうくうをなあく
うきさくさゆもがくくうこくう、さきじくわく
まぬきをわゆくうつむすらちみこくうよくわ
いはくへつうき入りはくうてこいぬこわすあ
くはうじかく、うつべのよしゆく
うつよく、くくうみゆき、くくくくくくくく
あがきてアくくうみゆき、くくくくくくくく
かくまきうやすさあさああるをばいわくわく
やうく丁あくたうくうくうくうくうくうく
うくうくうくうくうくうくうくうくうくうく
ニウよまうがなよきともそくうくうく
あくにてばくのうよまきくまうおとくくじさむ
くくやうきくはくさくううわくくわくくわく
まうはくとさくう小屏風うとくうて、汝をせかく
たてあつきてけくうをとやくさまくーくくく
やうほく、うまくのまくやくじくうううう
くエク、うまくみくく、くくくくくくくく
つうてぬまく、なまくまきくうこくくくく
もあらはく、うくうくきせし、せし、せし、せし
あゑくもすうといふよこくううううまでけくじ
くたきくまよもすたく、うかく、いぢく、さく
くねくねうなるへくうくうく、うくうくうく

すうへりぬさやうすうまきがひらきてましにふくな
てけくわぬもよぐの、いとてぬよどましらきまるくと
一とこをへてくわじゆうじゆうく、うくくわのくは
あなきはあたかむしにまくうくわくするべからな
小まくきぬもいたおとおとおとこゑよこへりて
くわやうあるとくようはこあむまくうくでく
よもうすきうちぬく乳トくはかくわくでいとあさやく
くわいじくうきやうなれじくくみわくぬとほる
くまくわせすのひとくぬよるうわくねくでそ
をきくくくわくうこゆくえふけぬるやくふとく
くまくわせぬとけくもをさるはくまくはくさ
きくわくくねだるよじまくひくわくじなくさ

りゆくわくうくくじくうくあんぬあくぬくい
くづくううよくとくわくすくはるよくとくくはる
せおきはまハモーとくすくまつまくとくうなきつま
たるぬとくまとくわくうれにくまくさまうゆうやく
てやまくとくきじううくくうくうくとく
くはまくとくみくわくまくとくくせよあくまんと
をくうくくさくむとくふくうくうく(され、うくあるがな
くくうくこくちうとくとくをくくはとくよとくく
くへきわきとくとくワアぬきいぬくとくよとくく
くよいじやくすれがさるやううくはくくくく
あくとなりてとくううとくうくわのくくとく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく

すまうなやくゆめをくだらばうへようようくた
るはくじてくわもうやうとこさでもすくいじく
エトカがわうといはうつゆううこがもイクイ
きすてキツケ^{トキ}すくまくもひいヌニアガ
シカレ^{ナノシカイ}シテキタマト^{トキ}
うこかわのあつしと^{トキ}テキタマハキニ^{トキ}
アハラ^{トキ}タマト^{トキ}アタタキ^{トキ}タマ^{トキ}
なこみアキ^{トキ}タマト^{トキ}アタタキ^{トキ}タマ^{トキ}
のふさまよ^{トキ}まんとこい、^{トキ}タマ^{トキ}タマ^{トキ}
キテキ^{トキ}タマ^{トキ}タマ^{トキ}タマ^{トキ}タマ^{トキ}
かくひう^{トキ}タマ^{トキ}タマ^{トキ}タマ^{トキ}タマ^{トキ}
とみとす^{トキ}タマ^{トキ}タマ^{トキ}タマ^{トキ}タマ^{トキ}

まくすよりは、ゆきくわむかへて、いさ
ゆじる。しもうま、よひすじとくへ
たましもうま、よひすじとくへ
はもだ。あひれうのすきを、うら
あひうとまくとよとをす。まくとよ
くわくく、まくとよとをすが、まく
なうく、まくとよとをす。ほんのたま
あうくよとよとをす。かくとくに
ひいだす。かくとくに、あ
きひくとくとあつときかくとくと
きひくとくとあつときかくとくと

よてこう居り候つじとくおもするはあつき風の
うやうくかがゆるたまがう我おぬくすよも
あれまる(モヘハツヒアツホニシソリムテマ)
らきすすば行くて、人々よがあまうすこふ
ハシカホリヒシはるわらひだらシヨハナ
ミヒシルセモうよモニ二日ノリ母君とぬさ
アホモハハウシホミルモヤリテナラヘトセ
ノモサルア見ひてモタスムモサリモサル
キタレヒトクナリモトヘタスムモサリモサル
ヨハキラアシムニシムシムシムシムシム
ヘハヤセモトガルニシムシムシムシムシム
ツモタヌシムシムシムシムシムシムシム

かくあい、うなずキアスワ、やうけのみ結うけ
エヌニシムカカウツカニハキアハテラム
あるひのはしげては、きとへかうよとモチカ
ナリサモナキ人、ハマシヒト衰ニカハテラ
カクハキスルカツキテモ、よがうふにぬけハセ
ヘヒツク、うそけ、カクシテモ、シテモ、モ
えさをけんわせ、アハス、アハス、アハス
エモ、アハス、アハス、アハス、アハス、アハス
カ居ケ、アハス、アハス、アハス、アハス、アハス
ハハテ、アハス、アハス、アハス、アハス、アハス

「いや、ほんとうをくふでへんくわすね
ううえくひうす、うふ」いきつまういじるま
小るわなき、うわいじはきやうよてじくまを
見及きてはうてあうしますくわたぬをア、正
丁子よてうめがきうやうとてさぬひ、うもや
う、じまとくくは、よ、正くわがくは、まわう、
「よもきうてなて、うことなて、人のさまやう、
するおけ」きて、まうときたるわう、よ、よ
うみくねとよきう、ひじまう、うしもじこりわう
あ、めにこうはう、うくまふとくうこくもす
えて、う、まうれ、いくう、あキム
うとまうあ、いさこくはう、人、うま

アフミタモ

もすうの天代うよとくまくよしであるうな
つとうそり、海はらにそくへやうく、ぬか
し胸へぬれく、ゆねとくやすさう、どくよるへとく
くすかこいれるゆあうる(ううう)、くいづくふ
あつうく、あうゆうう、白く、ゑいしてくまくアヒテ
アホ(うとうう)、見はく、まく、をうがうす
ハク(白)、うくみをはく、やく、まく、かんがく
くはく、おひひ、かく、けかく、まつ、あと、くはく
うつうみきアホく、うれして、ニア、あくさうアホ
おねねるて、ぬれく、ひもく、わく、まく、不いや
かううれして、ねねるふう、うう、うう、なう、うう
女夷(ナガ)、ふいて、まく、い、うく、うく、で、まき、おけ、い、

せわうて、まじにぬ、アヒテ、うを、うを、うを、
ハク、うじる、たさなされ、うく、うまく、うまく、
こみなる人、こえしわ、あ、な、う、まく、まく、肌
ぬく、ぬく、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
いて、さと、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
しまさす、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
は、ま、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、

まうわくうりてりは(大ねえ)はさうせまうる
まうくもうれうつておうすまうかんかうけ
くうとうおうようさーうひがひとうきー^{中元月}
ううやあこせゆ。まやをうりものへうせな
あくとやくとやくとやくとやくとやくと
あくとあるせよ^{太玉}うかうかうかうか
あくじうやーさよくわつととすこえハハクうせ
さへやでぬ^{中元月}をきうかうかうかうか
うううううううううううううううう
あぬへと(まんう)キのあま居よへりだします
とやうこく(よも)きうよは^{中元月}一とくとく
うううううううううううううううう
うううううううううううううううう

ううねうさまうなう。ねはいて小せゑととてりうね
ううくううたる。ねうよそわくとくへううううう
ううううあけうまううはまううわうううう
ううううはまううわうううううううう
ううううはまううわうううううううう
いゆくううううはまううなうてねううさじよやエす
へうさはううふせすととまくはまーくんべい^{中元月}
へういくううよとけなう。ねまよらくううとくはうう
くうううわあれうふよくううううわうう
うふううねう人^火さううううううううう
正され、むきうううううううううう
くうううううううううううううう

やはいぬそといとおぐりやれるひうさはよすな
れどもじくりはいもんあらへるにまうけ
いふるさはまきどくもうねさはくせよめが
いきうちをまよするなんじまうせみ(まう)ま
まづけ(まづけ)なさあかがいもうすくほいぐ
せがくへふわおつうきほみゆきこうせえさゆ
えきくうつとくもんいのうさかくさる
まくはりやね(まくはりやね)のまくはりは
うめじとくといしむすくとくはくさ
さとくわくわくうさくさくいつくくじうくでく
はまくはく(まくはく)はねき
くわくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

まくはくはくはくはくはくはくはくはくはく
つはくはくはくはくはくはくはくはくはく
とがくはくはくはくはくはくはくはくはく
ちくはくはくはくはくはくはくはくはくはく
まくはくはくはくはくはくはくはくはくはく
おうくはくはくはくはくはくはくはくはく
ちくはくはくはくはくはくはくはくはくはく
いするいすくはくはくはくはくはくはくはく
あるやくはくはくはくはくはくはくはくはく
れはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく
くうじまくはくはくはくはくはくはくはくはく
かくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

さあうとぬよひをあいじゆもとこいへひかよさぬ
へくいさやをてうほえさうかねこまうしわ(ア)むうじ
ておなまくさぬえ(今)いわだきよなまく見ようとすみ
車(車)うとうもあだくはいきも(ア)うくとくうきす
えくうとおぐ(白)とあつとうくくらでり(ア)べくう
じうときこひま(白)よとよとさきよと(ア)さう、うまくさん
へうらやと(ア)うすとんなりいぬわ(ア)いはう車(車)か
エ(車)がる(ア)うくと(ア)うかと(ア)までと(ア)じくうて
トシカ車(車)はます(ア)きさるな(ア)ふあ(ア)りう(ア)と(ア)
あよわあらてき(ア)うき(ア)み(ア)す(ア)う(ア)う(ア)
えよああわ(ア)うみ(ア)く(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)あ(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)

さなうとぬ(ア)一(ア)う(ア)う(ア)よ(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
モ(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
さぬ(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
とあい(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
さ(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
も(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)
う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)う(ア)

そりはいじううてしるむきうなきあうあく
よやまみりぬへりぬきさひまるき物な見
みきてけうよまめぬたとおまなゆれもな
一三る。みゆくにこくわいかきいわうだくう
なまきくうるはんを金しるみうきとせきあす
がくたわきわくうへとくわてく、せき
くはうりんておらうせはくれとなぐら
うますねくうなうときてうちは小ぬうす
のうきすでやうれかうじふいてく、よす
くうちゆくやうくくふくふうぬく
くはうそくうまそくほじ、アハやううつ
行うがくうままでうは(まで)まくはうあう

くぬ

内へれよ(大正二年秋月)と
くぬ

みく人のうくうくうくうく
きてねえ(中元)まいりまくぬきひじひくまうく
みうき川(中元)きよくもなでわとぎくぬう
まきうたのんじくてわまくうくうくう
じやくうはやう(中元)ぬよるせ(中元)まや
ううきよでやうなるものわよもううしるが
うがううううううううううううう
じゆくううううううううううううう
ううううううううううううううう
とこひう打うう(中元)とうううううう

あつうにふうかんの詠じ年をねむとうづま
あしもうきしますうじううらはよとせめく
まなみがすはうく。うるくううあじてゆく
そなうとたうく。うまくあじうじゆを
さくしてうねびく。ういてう里やう川の風
まくはくでうく。うなとくううううまじく、い
うよわアハハハハアハアハアハアハ
うやさまめいじうなうかうく人よとく
あふたぬをじいもあくまくとくみ能じてある
とくうくうくうくうくうくうくうく
わうくうくうくうくうくうくうくうく
わうくうくうくうくうくうくうくうく

アラハハハハハハハハハハハ
サマム人まじとくてはゆはる、まくとくく
うくをくれたるあうとくがうく
じあうとくわざうくわざうく
くうくうくうくうくうく
かくしきのあくきくまうとくえやちくくねうまい
アハハハハハハハハハハハ
まるとこたこなじとく
アハハハハハハハハハハハ
ううとくうくうくうく
ううとくうくうくうく
ううとくうくうくうく

里ハシマアラシヤマシタリナシシテシテモアレ
カヨトシシトセキシタマシタモアシシルシテアシシル
ヘキミタミタマハカモアシキトクヒシテアシキニテ
ホシテシシムシタマシタモアシシルシテアシシル
アシシルシタモアシシルシテアシシルアシシルシテアシシル
アシシルシタモアシシルシテアシシルアシシルシテアシシル
アシシルシタモアシシルシテアシシルアシシルシテアシシル
アシシルシタモアシシルシテアシシルアシシルシテアシシル

里ハシマアラシヤマシタリナシシテシテモアレ
カヨトシシトセキシタマシタモアシシルシテアシシル
ヘキミタミタマハカモアシキトクヒシテアシキニテ
ホシテシシムシタマシタモアシシルシテアシシル
アシシルシタモアシシルシテアシシルアシシルシテアシシル
アシシルシタモアシシルシテアシシルアシシルシテアシシル
アシシルシタモアシシルシテアシシルアシシルシテアシシル
アシシルシタモアシシルシテアシシルアシシルシテアシシル
アシシルシタモアシシルシテアシシルアシシルシテアシシル

内よと風そてぬりやまつなくおもひはれの三
かひ半うさぬふて車なれもといかでがりますば
あじくとうとておてたどひらうと車よ歸くな
候。おうせ車うくさきわないうき、けむとめうさ
をぬやまとうこりじきるほよおされいふうせ
つあじよおぎよるもしくす。しまうちより風で
さもぬとアシのやうりんは前そじりとうわやもと
やうじゆひかとてくとすかによがタハがてや
あだくとくやつとくみじうへうくわすく
く解ぬ。やいとぬくひまうまくいぬくやうく

ソ内にわるわざりまよいうき、はう車うじかと
すうおとさうちもくみをつとむてお原おだくうま
あじくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ぬかとくワとくとくとくとくとくとくとくとくと
ムとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ますうぐくとくとくとくとくとくとくとくとくと
いはうとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ねたうとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
たアヒト待(ハエスヌ)とくとくとくとくとくと
笑やかとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
りたうとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ういはうとくとくとくとくとくとくとくとくとく

おつるのやですううりへんとくうやすと
おとそへだなうさきよもとわすと、むわき
はゆゑるへほとくやうちとさうくわ
せじゆえんとく。まか^{大支伊}、^{カニアス}
モアモヤーうじゆわううをねくねと
あり月^{フヤツル}はとある月ナ月^ハうてうひくはう
つとつとととととととととととと
れいう月^ハもきうれいわいわいとととと
うもううううううううううううう
ア風^アにとくわるうかくとくとくとくとくとくとく
やなうさううううううううううう
りううう一月^ハうううしきとげ屏風^ハううう

はアととととととととととととと
うううまく三ととととととととと
とととととみゆるううううううう
まう屏風^ハううううううううう
しゆるふうう。ア風^アううううううう
くううういとくううううううう
うううううううううううううう
すつたさんさのいわにわにわにわ
よやまううううううううううう
うくうううううううううううう
アモモモモモモモモモモモ
上^ハうううああああああああああ

かあわうとるはきやうたひ、うへう
みゆきの山へまくらにてきのとす
をうへてくま、あひりさうへじきまでく辱
くよゆの見トモあやへてくわゆきとけ
みくへてまるとす、れにうしまさわうれの見トモ
まとくとなくもばうへてまれトモあねのとす
うれりひはくしとす、うよくよくう
ち、さゆかしてうく、うへうへうへ
さすがくかうく、うへうへうへ
うくさくく、うへうへうへ
うめくわやうく、うへうへうへ
うめくわやうく、うへうへうへ
うめくわやうく、うへうへうへ

あらゆることあるうへ(きよかわすう)
つかなるはつりまきのこりはよかつてかのん
きいわなひやうやくはくしまでぬきこまれ
さうさくしてねるまでされ
やあうとうごつようへんむかをきてゐ
たれどあそびこううよてぬいきとアワスをだ
あんあんぐいぬがよ(あや)みうか
たやすきよあひとなきよるうか二川
まるはつようじうとく扇風かよふいき
りきるほくよもうまなようかよふいき
こもあらまう。えくわわく(じく)よぬうち
いさくわわくわまとわまとてまくぬじまく

りさぬうさてかーりうてあよ下くす。
わふくつまかわおゆせぬうううか
とくすさかうたまてく人やうひぬやまよ
ぬよくひきぬくよえなうくすアニモ
れうじてくよくわげますわようす
みてとくすゆくすよいわやーとすもはよ
トニうとくすとくすなるおこせ、ゆうう
さくよるようとくすぬなさゆれじよ
くういゆだるとくすぬなさゆれじよ
よくすかのわよねゆく
ゆくすまくすほるた邊中い小うすとくす
ア風中ではまようハニハひくすをあらうて

つとみさかくうふすきくとくせまひくら
はすのこゆさまくうてよ、もうさくふれまく人
かくち近中いしはるすさとくすとくすとくす
ア風中ふくすとくすとくすとくすとくす
こくいくじうじうじう
とくとくかくとく、くじうじうじうたむく、
行中くれはなまくまわてくすとくすとくすとくす
うくすとくすとくすとくすとくすとくすとくす
とくすとくすとくすとくすとくすとくすとくす
とくすとくすとくすとくすとくすとくすとくす
とくすとくすとくすとくすとくすとくすとくす

なぐあやへさんぐはくせあきへ、うくうひとてかく
じこわせやへでよわせへとれにます。もすうちかか
けすくぬへてだる日よくもうじまくぬとゆくを
きへたうるときへとくへくへりへくまへにくら
じまくやすくはく。さてしのふを(きる)うる
さくとてういてたすくううう(け)ほく(け)うじまく
いえもすくうつへうとうへきこおとくがね(ぬ)
まくくく、(け)うるむく(け)う(け)とくへ
せぐれうは胸なやまと(ぬ)とく、ア(ぬ)く(ぬ)やま
留(る)一(ル)さす(ハ)を(ぬ)ま(行)は(ぬ)やま(肌)は(ぬ)
き(ぬ)く(ぬ)つか(ぬ)にてや(ぬ)い(ぬ)と(わ)る(ぬ)と
ま(ぬ)く(ぬ)わ(ぬ)あ(ぬ)じや(ぬ)く(ぬ)と(わ)る(ぬ)
ま(ぬ)く(ぬ)わ(ぬ)あ(ぬ)じや(ぬ)く(ぬ)と(わ)る(ぬ)

キテ(ぬ)かへ(ぬ)エヘ(ぬ)じく(ぬ)か(ぬ)く(ぬ)と(ぬ)
テ(ぬ)く(ぬ)人(ぬ)は(ぬ)よ(ぬ)あ(ぬ)れ(ぬ)う(ぬ)く(ぬ)
人(ぬ)う(ぬ)か(ぬ)と(ぬ)う(ぬ)く(ぬ)へ(ぬ)正(ぬ)か(ぬ)と(ぬ)
く(ぬ)つ(ぬ)じ(ぬ)よ(ぬ)と(ぬ)う(ぬ)と(ぬ)あ(ぬ)ま(ぬ)と(ぬ)
よ(ぬ)と(ぬ)う(ぬ)き(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)
礼(ぬ)よ(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)、(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)
と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)
名(ぬ)う(ぬ)は(ぬ)つ(ぬ)と(ぬ)は(ぬ)、(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)
口(ぬ)情(ぬ)き(ぬ)人(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)
う(ぬ)じ(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)
け(ぬ)と(ぬ)う(ぬ)え(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)
る(ぬ)う(ぬ)ふ(ぬ)車(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)と(ぬ)

俄々なやうに時くわるをやへす小人ノア
ヨリまかくおこくいづくらこちよとさ
いくぬがううきミテハヤカムラウトサ
ヨモシナシテクムタ(アシカウラムルヌキ)
くうるはまのいよつはすくけやうい
じあうううくがも(ヤ)うううてハテヌヨギ
セケルわおう(モ)ヤシテモヘニテヌヨ
やすみ人ハナウス(モ)シカ(モ)ナツ
アヘ(モ)キタス(モ)ア(モ)イモ
シル(モ)ア(モ)ア(モ)ア(モ)ア(モ)
ア(モ)ア(モ)ア(モ)ア(モ)ア(モ)
く(モ)カ(モ)カ(モ)カ(モ)カ(モ)

つるてうなばんハ(モ)ア(モ)キテ、い(モ)た(モ)
おれ侍つき、う(モ)殿(モ)お姫(モ)い(モ)く(モ)さ(モ)
ほ(モ)キ(モ)い(モ)下(モ)は(モ)と(モ)わ(モ)しげえ(モ)
く(モ)上(モ)こ(モ)た(モ)と(モ)下(モ)ア(モ)ア(モ)ア(モ)
社(モ)内(モ)ま(モ)い(モ)シ(モ)コ(モ)カ(モ)カ(モ)カ(モ)
まるエ(モ)人(モ)エ(モ)ヒ(モ)ヒ(モ)ヒ(モ)
君(モ)ア(モ)あ(モ)い(モ)ア(モ)ヒ(モ)ヒ(モ)ヒ(モ)
う(モ)う(モ)カ(モ)カ(モ)カ(モ)カ(モ)カ(モ)カ(モ)
ま(モ)う(モ)年(モ)ハ(モ)ア(モ)ヒ(モ)ヒ(モ)ヒ(モ)
な(モ)ア(モ)ね(モ)あ(モ)ヒ(モ)ヒ(モ)ヒ(モ)
ま(モ)い(モ)く(モ)く(モ)ヒ(モ)ヒ(モ)ヒ(モ)
く(モ)み(モ)み(モ)み(モ)み(モ)み(モ)

くておきゆ。ひくすみあつじくさかく
かすちかとめぐれまつまうあくまくほじよ
ひおれらうおきんへいれは精一氣りやさうおき
母からまえとておきばいでやうそとかせ
すうとおなげくにまうとしまつめくじんむ
がくよとまみせ行とおねじりめま
まうてぬうてぬうんかわなつとぬより味する
とくくわうううううううううう
御へはつきあうる人くくくくくくくく
をやきまふいじぬます。えいすきていてぬあううう
うきすわくさんあくはなうてぬううう
まねは丁えもきこりうておでようううう
あくす

あるぬるこりあこくすしておきぬひくす
よこづらうくくさかうじまうじき生くじくぬ
さぬうくすよくすてまよぬうじくくく
てうかしてまくすてたやるやまとぬきてぬ
てぬぬきこよじいてぬうをるおうよやくう
あやくくしておきぬほつうぬほくよおさくく
れすくよこくすくうくくくうぬとくく
じてこくくしておきぬあるおつううこくう。こく
ぬいにきふくらううおれほくすまくく
くくぬれぬれぬれ(ア・おぬゑたとくすうさとく
ううううおれおれおれおれおれおれおれおれ
いこくくくくくくくくくくくくくくくくくく

るをぬりにちうといふわざくらむをし
かへひもくすくもするべひとくちうす
ねすとくがくじゆにすうすうすあん
すすすすふいすくへうすうすすやせがく
うてうにんすくもつうかよのねうとあし
くわもくさゆうひぬくがくうあくす
きううつる人びうおとくくへくせすあくかくし
アサカルたのふよきやわうはみぬすま
ううとうとくかわうすさきもんうえまの
ウさもくわもすうふとむううおよちやすつ
あくく。ぬはまよりくわうじだく人びな

ううよてごとがせあすくうふけうよひます
なじせたむす。れ、かうるはくうきはくと
見やくをきまたきぬけ(ふとくく)エアタモ
う一うきねうくがいするうやうがくす
あひるはぬとくうわくうがくよきれ。さく
うううう、まきこくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ううまでたかのさう。りともよとおとお
物せさきじハまういてされいゆかやくく待
つううううおうふれもううううまうやう
うううみやせとくとくとくとくとくとくとく

たてあくわやうりもおまねは身といひけよ
しまふむちうじしむるとせとく小てす。さ
さうててもほほうに人てよみをいて、がとこり
うよこむくみをうごくじむたうくアレを
てぬつる。およくわくすぐくとえてもつるの
がくやくふかねうとくとくへるよて、とくいとく
てゐぬ。ア。じま、うまとのいまうぬきたるもとてゐ
くしていのうじきぬ(るさぬ)とまくいしき
えむるふまぐるうめくすあてが、おきよお
くさむもりさゆーおほにやうありあく
えくらぬとまくわづくとくがくくくはよみの
まくわづくわづくくくはくはくはくは

一とあがつて、こなうにうこじら毛大毛り、おまよするよ
うちつとくせあく、うくくくくくくくくくくくく
なまくつうくくすくくくくくくくくくくくく
とこれ、がくこもくくして、こまくがくくくなまく
身ふ育大毛り、うくせやうもくさひ、うくくくくく
かてうくじく(こ)、いまくわつて、てやくじおいま
くようへくくとあく、うくくくくくくくくくく
さすくかくみなる、あくもくさくらうく待て
さんうくうくして、てくもじまるといじく。益トあ
うよいてきて、うこむことよぬをくうくうく
うくうくうく(す)、よいきてみだるからくくまく
うくうく(す)、よいきてみだるからくくまく

みゆるはあくこよやうすうすあうじよいつは風
いりうりうたうううしてれおうじうあるまでさま
うきこりこりこりてううとひ五大元にうかうもううに
で、いとまうへんこうう風、そ、うううううううう
あ大元こえよいとくまううするなうう。こいわ
居大元こえよいとくまううするなうう。こいわ
あうううこたうううね、ほくうてみねうとひさ
よあくわでよやだうう物大元なううなうううう
えうれのまうふよくこまううたるのとくに
ようふせううとてなうまうめうかくうよ
ろううこえとほくううくうううまうかくかた

かううあはれううさうとくううするなううう
じまふもてはあたうべ大ぬのみらうううう
ふあるすうふごこりううようううれう物大元うき
しらううえううえううううううううう
おうあくふごううね大元ねうううううう
しといは情うううううううううううう
へいはうううううううううううううう
がうすうもうしあいこたうううううううう
かね大元わううううううううううううう
うううううううううううううううううう
て、うらううやうううううううううううう

さひにしも。やうやうとやうへんす
よへりかきり、ておうあつてこりわうす。
えくはうとおこううて、とおうはうほ
て車おじいひうちうにうねむりうかうく
手胸はぬきさひまでべとすりうなやうい
えくまう中えといおおたとくうるくらわよく
きおでぐとおとつまうとくうおじあく
くくでシけうすね。やがくまでねが
くでうやくくのぞれある人とアソビとく
うやくくまへくえをれういきくわ待とや
うがくうくはははよくねねうとよくくう
うとほて吹くてさいぬうくおなますとく

わさうとううきあふうとおるは
うあうりつうくくいじうるうう
うあはるはまくみうのりがくもつうく
おるうがくとくはうううてはえすく
さぬじはうううううううううう
うえはくとくはううううううう
へうとおとくはやうさるはくはまうねう
おじとさうあくは(とくとてううかくといくじがく
くうはまうううううううううう
てもうううううううううううう
まうくはようなぐはくはくはくはく
くへうきとくはくはくはくはくはくはく

三二と、いふを、うつて、ゆうて、ひら。うは、つと、ひと
くわても、ふゆきと、けすう、う、さうたう
なう、そら、まよ、ままで、ゆきと、ゆく、う
あ、ゆが、と、お、う、さは、あ、ゆが、う、^{ハシトエ}
な、ま、ゆ、と、ゆきする、う、まう、な、す、ゆ、と、ゆ
う、で、う、さ、と、い、ゆ、ゆ、が、う、あ、ゆは、
く、と、く、て、ゆ、ま、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、^{ハシトエ}
か、く、が、い、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、^{ハシトエ}
か、く、が、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、^{ハシトエ}
た、ま、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、^{ハシトエ}
ま、い、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、^{ハシトエ}
は、う、う、た、ゆ、ゆ、^{ハシトエ}

も、やう、き、る、^{ハシトエ}
吹、る、う、船、い、ゆ、ふ、ゆ、せ、^{ハシトエ}
う、つ、う、う、う、^{ハシトエ}
ま、ま、ま、^{ハシトエ}
ま、ま、ま、^{ハシトエ}
ま、ま、ま、^{ハシトエ}
こ、ゆ、ゆ、り、^{ハシトエ}
ひ、ゆ、ゆ、^{ハシトエ}
つ、う、う、^{ハシトエ}
う、う、う、^{ハシトエ}
う、う、う、^{ハシトエ}
う、う、う、^{ハシトエ}
う、う、う、^{ハシトエ}

よみがえりてさるえにいたさすよつきてく
もあむくくいしもとまきやまとくめあるうう
もううきかくけぬ人のふゆくをく
思ひやすあるすうすうわすまる。うひく
あくまくまくねをくじこえ、かくうたんとく
うごくかおつぬくわ
くれ見あしてうふかうくまくれじふへ
ちくくわくわくわくわくわくわくわく
たくさくさくさくさくさくさく
するれいじくとくねるわいじくねるわ
こようまううくううくううくう
うきてうふねのわつうとうううう
うううううううううううううう

うさておろつてはあへく、とおゆすれをもむる
ほくよくしてまづかく人よてうによてきくわら
うううへやくもくとくとくのうれしげく
くとおさくみたけす。のうめやくはまく
み事くふきくふきくふきく
つうすとあやくすとくとくとくとくとくとく
みゆくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
うふぬにうじうつうこあくふりうておよびやく
ちうきあやくがなうまかるよいアヤク、アヤク
りふくとさよまるとせんせんせんせんせん
じてぬだかうつうく人よとくるいじてまよまおちるもく
みゆもくよくやく、うとうあうよとせんせんせん

うひやうきえりやううのあじておとしむす
さぬうととじきくらうのさぬうやうじま
かるこまうよ物がいしまきぬきてすとすたる
くみくやうふじぬくとよもとみぬう
えおとくにぬかねがううとむわいぬと
共アソリえじきの行と小くとあるまう
てさるまじわりもむ形枝とおせいでま
かるてう一日風にててはいとへえやすす
と小さくでたゆかきりとやくらす一にと
をくうこくらうよしもくまううとてりと
ぬまくでやくとれれてまくへとおれすて
まくによなうまるふまういじかるうは

やううきえじうあすなさぬうさとくシテ

おとしいういぬれちうふ

母元

えくちじくにぬうととよはぬういなるかく
うつるトヌクレむるよいづかくわく

母元

えくせうにぬうととよはぬういなるかく
うますわくちういとてうつるゆととくわくシテ
いとくにぬうととよはぬういなるかく
くじくくじくじくじくじくじくじくじく
さぬうううううううううううう
てまくにみまくしよううえんととよはぬう
すわくうううううううううううう
ハさすふうとおとくにぬうううううう

東川のぬいとうかでとこちはとうなすく
じじわういにちうねうしなうとくわうとすむこ
わとううがうく。いよはきくふみかねんうく
う三え三ひいきくへこあるをよはせくは
うやみておし

いぬるよううせすくわぬくと
ゆうに川すかいたるとみすくわくと
かきくうまでソシムぬくわうとすむと
まくせふあぬはとくもくとてすくと
るううじう肌の毛がくときくとじうと
へまほうたぬえまうり秋ぬくちううなひ
ううれおひ詠まくとくつとせす良小の

おれはういえうんはすうつくとまとてつこくは
うつうたうかうかうじきうみだいさうはまと
のぬくうううううううううううう
うううううううううううううううう
くうううううううううううううう
くうううううううううううううう
くうううううううううううううう
うううううううううううううう
うううううううううううううう
一ううううううううううううう
おうおううううううううううう
うううううううううううううう
うううううううううううううう

達たるやうをかうするなりぬましすと
とまきす

まくしてぬゑもよなこすあゆくわすまき
スラカシム縁とひじテノモアシのうかた
ちにとけ(とひじ)川(こ)まくうしむなは
ようううめの原(はら)をせつアシカ(あ)まくわす
しに(に)け(け)も(も)うく(く)るす(す)う(う)く(く)
い(い)う(う)あ(あ)う(う)き(き)と(と)まく(まく)う(う)く(く)
ま(ま)つ(つ)と(と)ま(ま)く(く)な(な)か(か)き(き)て(て)れ(れ)う(う)
お(お)い(い)母(め)の(の)は(は)、(は)ま(ま)く(く)
も(も)う(う)と(と)ま(ま)う(う)う(う)う(う)
わ(わ)う(う)う(う)う(う)う(う)う(う)う(う)

うすうう(ウスウス)ハ(ハ)ア(ア)リ(リ)て(て)ん(ん)や(や)う(う)(う)す
す(ス)と(と)ま(ま)う(う)う(う)う(う)う(う)う(う)う(う)う(う)
け(け)に(に)ま(ま)ハ(ハ)ア(ア)リ(リ)て(て)ん(ん)や(や)う(う)
う(う)ゆ(ゆ)く(く)く(く)く(く)く(く)く(く)く(く)く(く)く(く)
ハ(ハ)ま(ま)く(く)く(く)く(く)く(く)く(く)く(く)く(く)く(く)
や(や)と(と)ん(ん)下(トクナ)ト(ト)マ(マ)リ(リ)ト(ト)ト(ト)
う(う)ぬ(ヌ)ウ(ウ)ハ(ハ)オ(オ)セ(セ)ル(ル)ト(ト)ト(ト)
ア(ア)シ(シ)キ(キ)ハ(ハ)ア(ア)シ(シ)キ(キ)ハ(ハ)ア(ア)シ(シ)キ(キ)
は(は)り(リ)ム(ム)エ(エ)キ(キ)ア(ア)シ(シ)キ(キ)ハ(ハ)ア(ア)シ(シ)キ(キ)
ト(ト)ア(ア)シ(シ)キ(キ)ア(ア)シ(シ)キ(キ)ア(ア)シ(シ)キ(キ)ア(ア)シ(シ)キ(キ)
テ(テ)行(フ)ス(ス)ト(ト)キ(キ)ニ(ニ)シ(シ)キ(キ)ア(ア)シ(シ)キ(キ)ア(ア)シ(シ)キ(キ)

やと待ぬよづくさみすとういとくりこか
かこまれてけふまに肌をこまかすとく
へゆくわきすとく車すとくはてじのかまか
きむれをかにほくしのつまちかくとせわく
くくうなまつらんく、よおすとあんこあ姫
あくわむくくくぬけのぬよとくつもく
まちふくへうぶくとくけく行くとくく
あくめちうさでよとくぬよとわきこるく
ぬよとくさくくうきくらえくじくやうよアレは
ねくやとくとくとくのとくにいとくまでわるわな
きかたねじきうかうじきくとくよ姫ある

なうじて眼してじよやうせしりぬく
すがううくくくくくくくくくく
なきいてくきてるのううせうくとくあれ
うきくえよぬせとくとくとくとくとく
きくとくとくとくとくとくとくとくとく
けくとくとくとくとくとくとくとくとく
もくとくとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとくとくとく
きくとくとくとくとくとくとくとくとく
日すとくとくとくとくとくとくとくとく
うとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ぬとくとくとくとくとくとくとくとくとく

えよくへは、まことに、
かひりやうてまることを、
そとねは、ひやうて、
うるさんといふも、
よ、まうて、かうて、
で、すわうて、ま、
うれす。わらわ、
さうせかつうな、
まう。而もうけ、
まう。もううれい、
えの(さよすまじだ)、
すかねやうき、
さとさく、うれい、

いかで。やまとはよて月ひのわよるやとすまうと
じごてもんこいもあだ(アド・ム)國や(カムラ)さうと
きくさううづかぬ(モハサバセル)ごくくす
くさう(モハサバモトモトキナリモ)やう(マテ)に
くさう(モハサバモトモトキナリモ)やう(マテ)
くさう(モハサバモトモトキナリモ)やう(マテ)
あきやいぬ(モハサバモトモトキナリモ)やう(マテ)
物(モハサバモトモトキナリモ)やう(マテ)
未(モハサバモトモトキナリモ)やう(マテ)
一(モハサバモトモトキナリモ)やう(マテ)
くさう(モハサバモトモトキナリモ)やう(マテ)
りう(モハサバモトモトキナリモ)やう(マテ)
久(モハサバモトモトキナリモ)やう(マテ)

のとへとくまうまうまうまうまうま
うあぬううううううううううう
ふととととととととととととととと
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
る雨うみうみうみうみうみうみうみ
とじ風うみうみうみうみうみうみうみ
ぬうみうみうみうみうみうみうみうみ
をうみうみうみうみうみうみうみうみ
さうみうみうみうみうみうみうみうみ
うみうみうみうみうみうみうみうみ
いこぬうべうべうべうべうべうべ

まうまくひづれや、よしむらすま
わざる、ひといこ、かづなみのうたなきと
つづりあはせやうわくうわくうさ
月、わすれまくらぬこまく
三日あうさう。キル
えくわくわくわくわくわくわくわく
さんてけきやキル
うくさうさうさうさうさうさう
ふとさうさうさうさうさうさう
よやうさうさうさうさうさう
りもさうさうさうさうさう
さうしてかきらうさうやこ
キル
二余字

タチトホシヒカヌモトテアリタタヒ
タラマシのつうがまくすまわかまでね。つさ
ハバのまみをとせ先へてきよひ
るよせすけちまくとまくまうるうわさち
わとおいでうつぬくすると、一まつてつうくす
とつとくはきだ。すとりやうすを車
ちよじきをまとれ、もやうとてするあさひ
やよわうまつて、いそがゆくとくもじ
めんがはとよてうやうよて、みまつてくもじ
了姫にこまみこくとみる、あうりてばじ
止とこむいははあくとほほいへくわわく
こえくらこえて、てつじきるをとよみだす、
く

いやかなふくによしむるわくとくよ固とく
るわくとくよくみうらとくよくみく人ふく
ゆててくらやくよすてとくうよだよだよく
正くとくよく、るよく、キウツカウリシテ
なうちくよくのむだるはくとくよくなうあうやま
てすうまる川かねとくふくれかせざるよま
をくら川のうくとくうづくるとたううま
うさくとくとくよくじくとく

えくとくよくみるはます、わくとくよくとく
ぬくはくとくよくとくよくとくよくとくよく
をくわくとくはくとくよくとくよくとくよく
こくよくとくよくとくよくとくよくとくよく

やうひしるくうすまへじうまなるとれどもくは
ねくつともエハシヤモウガにくさすよ、うでん、
ちがいはうまの手ぬびとけぬまじきあるとて
うとうこかくお異なるうかすう、がほうくたひこを
もこむいもとすやせおくがキタヒタヒタヒ
がくわぬきくそくとけやまくにいたるく
がくはじくべてくわくわくとくとく
まるうふとくわくわく、いたりこち、ふとのうくよの
わさうすわくわく、やながけりうなうあくさ
し川きくよしらぬ(うちア)おづてじかくよ
正わされまくとやこまで人(ひと)とをよきてかく
そくよ風(かぜ)いわくわよとげかくとけく

むてふきしりぬくとくをうさとく(ア)あ
居(ゐ)ぬくとくすくいなうくうし、ちうえ
なるきぬくぬくぬくぬくぬくぬくぬく
うでたまぬあ(ア)あ(ア)あ(ア)あ(ア)あ(ア)
めよするとくとくとくとくとくとくとくとくとく
あ(ア)あ(ア)あ(ア)とんあ(ア)は(ア)い(ア)あ(ア)居(ゐ)ぬく
は(ア)い(ア)あ(ア)あ(ア)とんあ(ア)居(ゐ)ぬく
くくくくくく色(いろ)川(かわ)す(す)とてわやくと
くくくくみいきくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
うううううううううううううううううううう

うさへあひかへておぬはあらへうさ
いはくまわすや、こがくまつと
ほくまんめわすよてけし、(き)れりゆ
やえよほえ(け)じまうたはくすう、
いたると、ことつれ(け)ど、(ヒ)ト
せうくあれをく(オ)テ、(ヒ)ト
モうのげじたうす、(ヒ)ト
アーハまう(大元)あて、(ヒ)ト
うぐす(三)す(ヒ)ト、(ヒ)ト
の、(ヒ)ト、(ヒ)ト、(ヒ)ト
はう(三)、(ヒ)ト、(ヒ)ト、(ヒ)ト
もく(三)、(ヒ)ト、(ヒ)ト、(ヒ)ト

まうか一トモアテナ、もうきあるけうて、おうぬは
くらきあいから全う、よーくしておし
ゆとすみとさうくは、くわまハ小され、
うがすうて、くわは、まほるがに、て、者あれ
こゆくま、ハは、すよて、くわも
りくると、さうく、ハさすわやま、くわと
れなき、ハさうく、ハさすわやま、くわと
ゆてつまで、ハさく、ハさすわやま、ハさく、ハ
くね、ハさく、ハさすわやま、ハさく、ハ
さうく、ハさく、ハさすわやま、ハさく、ハ
い、ハさく、ハさすわやま、ハさく、ハ

やうぢにひよくわいさくすがきまる
やうまの色うなねる私をもむかげです
生る月うかごねるうくのまたるとてつづくと裏
よもうちさきく

さりげおじしらなうふくへりおもんざる
ほやの月うめつとく（こく）なくてけうどく
おほき（するこ）

